

減容化・再生利用と復興を考える知のネットワーク 会合

～若者からみた中間貯蔵事業に係る情報発信について～

(技術実証事業成果発表会 (第2回))

この度、環境放射能除染学会と中間貯蔵・環境安全事業株式会社 (JESCO) は知のネットワークの会合を開催いたします。

前回の会合ではJESCOが環境省から委託を受けて実施している除去土壌等の減容等技術実証事業 (以下「技術実証事業」) の成果発表会 (第1回) として、除去土壌等の再生利用の技術開発とセシウムの効率的分離による除去土壌等の減容の技術開発について、実証事業で得られた成果を共有し、意見交換を行いました。

今回の会合では第1部で、技術実証事業の成果発表会 (第2回) として、理解醸成分野の実証事業について、発表を行います。また、第2部では、中間貯蔵事業に関する情報発信を積極的に進めるとしたらどういったアイデアがあるか、について、これまでの理解醸成分野の実証事業で得た知識と経験をお持ちの若い方々との意見交換を行います。

日時

2021年7月1日 (木) 15:30～

無料

開催方式

オンライン開催 (Webex)

申込方法: メールにて(i-network@jesconet.co.jp宛) お申込ください

件名は『7月1日会合申込』とし、氏名・勤務先名称・所属部署・メールアドレス (オンライン会合に参加するURLの送付先アドレス) を明記ください。※申込締切: 6月30日 (水) 12:00
会合に参加するwebツールのアクセスURLは、開催数日前を目途にメールにてお知らせします。

【プログラム (順次更新予定)】

2021年6月15日時点

開会

小林 正明 (JESCO 代表取締役社長)

中間貯蔵事業、技術実証事業の概要の紹介

日置 潤一 (JESCO 中間貯蔵事業部 次長)

第1部 技術実証事業の成果発表

進行 大迫 政浩 (国立環境研究所 資源循環領域 領域長)

1. 次世代を担う人材への除去土壌等の管理・減容化・再生利用等の理解醸成
(実施代表者: (公財)原子力安全研究協会)

発表 保高 徹生 (産業技術総合研究所)、万福 裕造 (農業・食品産業技術総合研究機構)

2. 除去土壌の再生利用等に関わる理解醸成のための課題解決型アプローチの実践
(実施代表者: 福島工業高等専門学校)

発表 油井 三和 他 (福島工業高等専門学校)

第2部 意見交換会

進行 大迫 政浩 (国立環境研究所 資源循環領域 領域長)

1. 減容化・再生利用、中間貯蔵事業に関する情報発信について

発表 学生 (4名程度)

2. 中間貯蔵事業に係る情報発信について

発表 小岩 真之 (JESCO 中間貯蔵事業部 次長)

3. 意見交換 (1、2を踏まえ、学生の皆さまとの意見交換)

【お申込み・お問い合わせ】

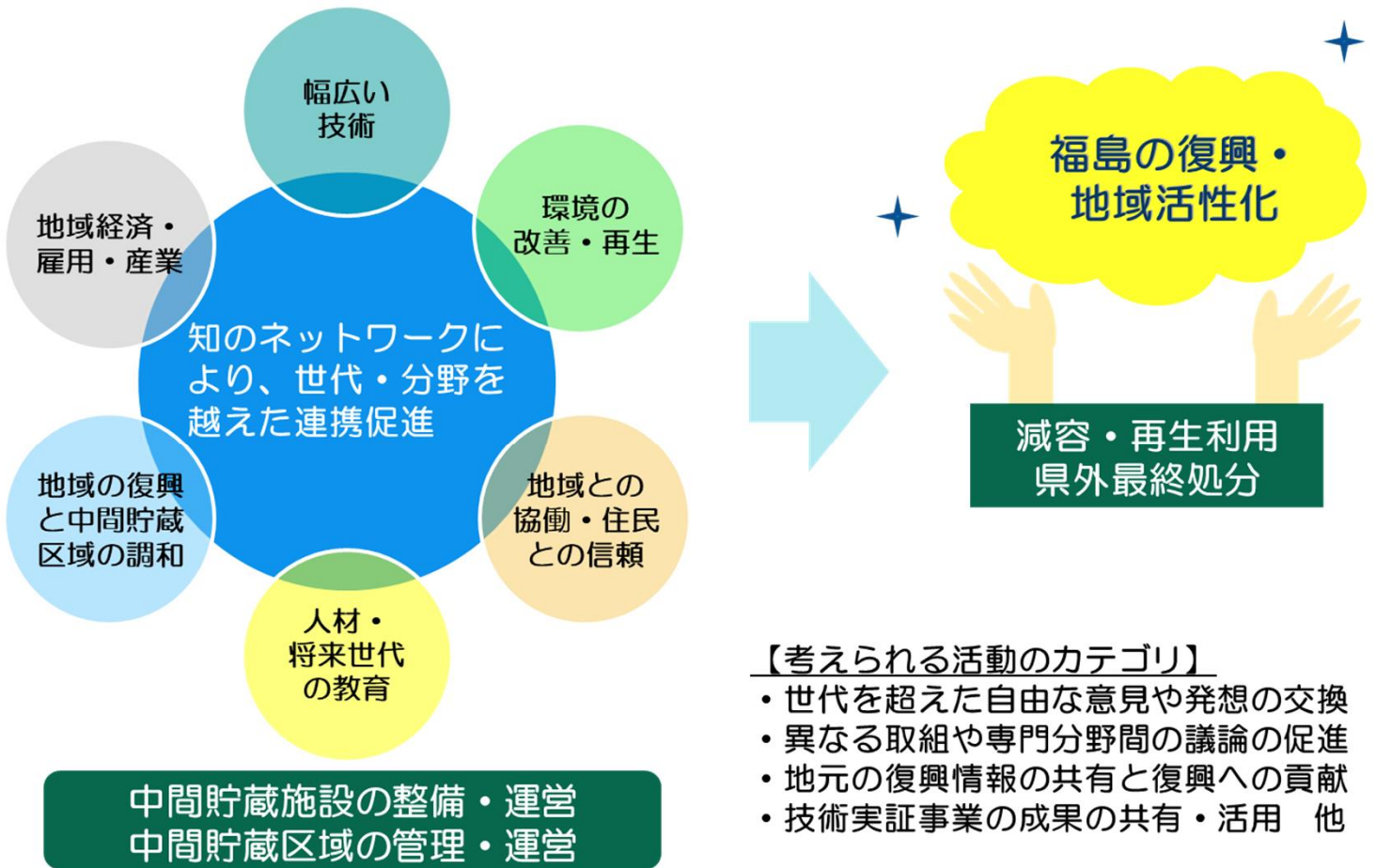
減容化・再生利用と復興を考える知のネットワーク事務局

i-network@jesconet.co.jp



< 参考 >

知のネットワークが目指すもの



【考えられる活動のカテゴリ】

- 世代を超えた自由な意見や発想の交換
- 異なる取組や専門分野間の議論の促進
- 地元の復興情報の共有と復興への貢献
- 技術実証事業の成果の共有・活用 他